

肢体不自由

体の動きに関する器官、四肢、体幹に何らかの障害があり、日常生活に不自由や困難が生じている状態をいいます。障害の部位や程度によって個人差があり、必要な配慮も違ってきます。

主な困難	支援例
読み書きに時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • 授業や試験でのパソコンの使用を許可する • 授業資料（データ）の事前提供 • 授業の録音や板書の撮影の許可 • 授業時間中の小テストやレポートの提出期限の延長 • 課題の提出期限の延長 • ノートテイカーの配置
移動に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> • アクセスの良い教室への変更 • 車椅子が出入りしやすい席や導線の確保 • 排泄等で時間が必要な場合は遅刻・途中入室を許可
実験器具の使用に困難がある	<ul style="list-style-type: none"> • ティーチングアシスタントを配置し、学生をサポートする • 車椅子の高さに合わせるなど、設備や器具の配置を工夫する
音声の聞き取りや発話に困難がある	<ul style="list-style-type: none"> • 意識的にゆっくり、はっきり話す • 発言や反応を求める場合に適切な方法を事前に相談する

